

令和2年度 にいがた市民大学プレ講座について

- ・各講座のコーディネーターは、R3年度講座コーディネーターと同じ
- ・定員は各講座100人(新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、変更もあり)
- ・受講料は各講座1,000円/人
- ・会場は「皆で感染症を考えよう」のみ、万代市民会館、その他講座は クロスパルにいがた 映像ホール
- ・2月の講座は12月20日号、3月の講座は1月17日号の市報にいがたへ掲載

講座名	日時	テーマ名	内容	講師
皆で感染症を考えよう	令和3年2月13日(土) 午前10時～正午	みんなで知ろう！新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症について、これまでわかってきたこと、そしてこの感染を避けるために、みんなが取らなければならない対策をわかりやすくご説明いたします。	オンライン講義 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 国際保健学分野 教授 齋藤 玲子
ヒトにも自然にもやさしい街中の移動を考えよう	令和3年2月19日(金) 午後7時～午後9時	自転車こそ21世紀が求める移動手段だ！	自転車は身近な乗りものですが、環境負荷、心と身体の健康、まちづくりなどの観点から、いまや最も注目されている移動手段のひとつです。このプレ講座では、自転車がいかに環境にやさしいか、健康にいいか、新しいまちづくりに役立つか、具体例をあげて説明します。	対面講義 新潟大学 名誉教授 自然科学系(工学) フェロー 林 豊彦
ミュージアムから見た新潟	令和3年3月10日(水) 午後2時～午後4時	渋沢敬三が見た新潟	新潟の郷土史家とも関わりのあった渋沢敬三が、新潟のどのような民俗に関心を持ったのか資料(モノ)に着目して考えると共に、民俗展示の課題についても学びます。	対面講義 新潟大学 人文学部 人文学科 准教授 加賀谷 真梨
認知症とともに～安心して暮らせる社会づくり～	令和3年3月13日(土) 午後1時～午後3時	ウイルス禍と認知症～新潟県の現状と課題	認知症はどんな病気なのでしょうか。アルツハイマー病をはじめとする認知症の基礎知識とさまざまに現れる症状、医療・介護についての理解を深め、新潟県の現状も学びます。	対面講義 みどり病院院長兼 認知症疾患医療センター長 成瀬 聡